

コピュラの実務への適用例 —与信集中リスク評価への応用—

川 口 宗 紀 CMA
山 中 卓
田 代 雄 介

目 次

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. はじめに | 4. Vineコピュラ |
| 2. 業種間の相関構造 | 5. 仮想ポートフォリオによる分析 |
| 3. 与信ポートフォリオリスク管理への応用 | 6. まとめ |

与信ポートフォリオの信用リスクを管理する場合には、個社の信用状況の管理に加え、与信先の分散化が重要なポイントとなる。例えば、与信先が業種ごとに分散化が図られていたとしても業種間で強い相関構造を持っていれば、その分散化は見かけ上のものとなり、信用リスクは高いままとなってしまう。この相関構造を表現するためにはコピュラを用いる方法が提案されているが、本稿ではVineコピュラを使ってこの業種間の相関構造をより詳細に表現し、信用リスクを評価するためのモデルを提案する。Vineコピュラによって業種ごとの相関構造の違いを詳細にモデル化することで、その違いを考慮したリスク評価が可能であることを確認した。



川口 宗紀（かわぐち むねき）

(株)三菱UFJトラスト投資工学研究所 主任研究員。2003年大阪大学基礎工学研究科情報数理系修士課程修了。同年4月、(株)エムティービーインベストメントテクノロジー研究所(現(株)三菱UFJトラスト投資工学研究所) 入社。10年4月より現職。



山中 卓（やまなか すぐる）

(株)三菱UFJトラスト投資工学研究所 研究員。2011年東京大学情報理工学系研究科修了、博士（情報理工学）。同年4月より現職。



田代 雄介（たしろ ゆうすけ）

(株)三菱UFJトラスト投資工学研究所 研究員。2011年東京大学情報理工学系研究科修了、博士（情報理工学）。同年4月より現職。